



特命子ども地域アクタープロジェクト 2015 報告



現状と課題

子ども



本来、自由で主体性をもった子どもたちのはずなのに…

家、学校、塾だけを行き来するだけの「**専門子ども**」が増え、多様な人とのコミュニケーションが取れていない。

地域の中で遊んだり、暮らしたりできていない。

主体的でない、社会性がない→
ニートひきこもりの問題
(神奈川県青少年問題協議会での課題)

地域

自治会町内会、公園愛護会、地域活動、ボランティア団体の**まちづくり団体の高齢化、固定化**

子どもたちが関わるときには「お客さま」のように扱い、「若い労力」(設営の労力等)、**子どもたちが、「参加」に留まり、まちづくりに「参画」できていない**

そのため、満足度が低く、**地域活動に定着する、次世代育成ができていない。**

地域まちづくり団体と、まちに必要な青少年を結びつける現場を作る

特命子ども地域アクター事業内容

23年度～24年度
新しい公共として
神奈川県と協働で
スタート

25年度
引き続きかながわ
子どもの社会参画
推進会議を継続し
神奈川県と協働

26年度
基金21に採択され、
神奈川県(4つの課)
と協働中

27年度～30年度まで
にアクター事業のしくみ
を確立。そして事業を支
える資金のしくみをつくる

1. 「特命子ども地域アクター」の養成・派遣・報告

・まちづくりのいろは講座⇒まちづくり現場への派遣⇒成果発表

[実施スケジュール]

4月～5月まちづくり団体募集、特命子ども地域アクター募集
6月～7月アクターへのまちづくりのいろは講座、お見合い会開催。
7月～8月アクターによる企画提案&まちづくり団体への活動参画
7月～12月プロジェクト実行
12月～1月 成果発表会・・・その後報告書まとめ



2. 事業を支えるための資金づくり

こどもたちが提案した事業に予算をつけられるような
ファンドについて検討中

「特命子ども地域アクタープロジェクト」について

26年度

アクター26名
まちづくり団体14に派遣

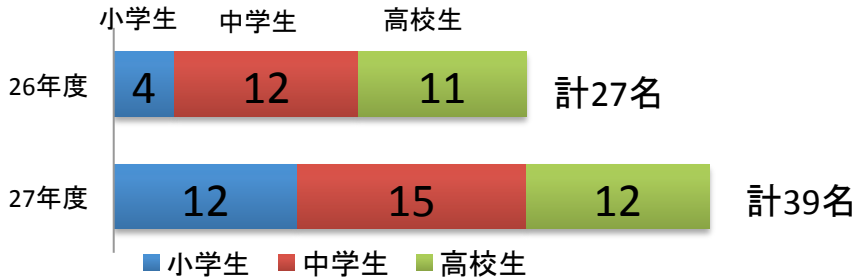
★アクター26名

小学5年2名、小学6年2名

中学1年4名、中学2年4名、中学3年4名

高校生1年2名、高校2年4名、高校3年4名

アクター参加者数の推移



27年度

アクター39名
まちづくり団体15に派遣

★アクター39名内訳

小学5年4名 小学6年8名

中学1年6名 中学2年3名 中学3年6名

高校1年8名 高校2年2名 高校3年2名

1. (公財)横浜市男女共同参画推進協会:男女共同参画
2. NPO法人湘南メディアネットワーク:市民メディア
3. NPO法人海の森・山の森事務局:環境保全
4. 横浜都筑文化プロジェクト:文化振興
5. NPO法人都筑民家園管理運営委員会:文化振興
6. ほどがや人・まち・文化振興会:地域まちづくり
7. NPO法人夢キューブ:地域まちづくり
8. SunSunマルシェ(平塚):地域活性化
9. いせはら樂市樂座:地域活性化
10. 鋼管通り商栄会他、川崎3商店街:地域活性化
11. 三浦半島食彩ネットワーク:地域活性化
12. 株)生活科学運営ライフ&シニアハウス港北:高齢福祉
13. 神奈川フィルハーモニー交響楽団:文化振興
14. NPO法人シャーロックホームズ

1. NPO法人移動サービス協議会:障害者福祉
2. ブラインドスキークラブ:障害者福祉
3. 中川西地区センター:地域支援
4. 横浜都筑文化プロジェクト:文化振興
5. 神奈川フィルハーモニー交響楽団:文化振興
6. NPO法人夢キューブ:地域まちづくり
7. NPO法人街カフェ大倉山ミエル:地域まちづくり
8. 湯河原明店街:地域活性化
9. ハッピーサークル:地域活性化・子育て支援
10. 鋼管通り商栄会:地域活性化
11. 株)三浦海業公社:地域活性化
12. ホットシェフ:地域活性化
13. フォーラムアソシエ:子育て支援
14. ほどがやニコニコフェスタ実行委員会:子育て支援
15. NPO法人コミュニティデザイン・ラボ

現在から基金終了後の
県域に広げる事業展開

財源の種類

基金21

よこはま
夢ファンド

* 1 かながわ 事業指定助成プログラム
生き生き基金「エラベル」

* 2 自主資金

26～27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
基金21: 約500万 (用途: 特命子ども 地域アクター事業& 基金の設立事業)	基金21: 約444万 (用途: 特命子ども 地域アクター事業&基金の 設立事業)	基金21: 約384万 (用途: 特命子ども 地域アクター事業&基金の 設立事業)	基金21: 約337万 (用途: 特命子ども 地域アクター事業&基金の 設立事業)	かながわ生き生き 市民基金 100万(5団体に10万助成、 10万コーディネート費用)～
	かながわ生き生き 市民基金 40万(2団体に10万助成、 10万コーディネート費用)	かながわ生き生き 市民基金 60万(3団体に10万助成、 10万コーディネート費用)	かながわ生き生き 市民基金 100万(5団体に10万助成、 10万コーディネート費用)	31年度よこはま夢ファンド 90万 (用途: 特命子ども地域アク ター育成、事務局費用等)
よこはま夢ファンド30万 (用途: イベント費用の一部&: 賄い費)				* 2 自主資金 10万(事務費)
全体予算 約500万/年				全体予算約200万/年

継続

* 1 公益財団法人かながわ生き生き市民基金 事業指定プログラム「エラベル」

事業指定助成プログラム
「エラベル」

登録申請

選考

登録

一緒に寄付集め

* 2 その他(NPOへの一般寄付、クラウドファンディング、事業収入 等)

●市民団体が主体的にかながわ生き生き市民基金と一緒に寄付を集めるプログラムです。寄付者は応援する団体を選んで寄付をし、集まった寄付金から当法人の運営費分(15%)を除いた額を助成します。

子どものまちづくり応援事業・寄付呼びかけイメージ

★子ども・青少年がアイデアを提案し、「まちにいいこと」にチャレンジする事業を応援していただけませんか？

★まちの問題に気づいた、子ども・青少年たちが、大人と一緒に実行します。

★この事業はお金の助成だけではなく、まちづくりと青少年育成の両面からサポートできるコーディネーターを派遣することが特徴です。

子どものまちづくり応援事業・助成事業応募要項イメージ

★応募条件

ひとりで行動できる、小学5年以上高校生まで。
上記の青少年とまちづくり団体の協働応募も可。

★予算 10万上限(用途の制限はなし)

★審査の基準

上記の青少年がまちの中で活躍できる場があること。

* 当プロジェクトからのコーディネーターが事業に寄り添います

* 審査はかながわ子どもの地域社会参画推進会議が行います！

今年度は、(予定通り行けば)5年間の助成が受けられる、基金21の2年目になりました。助成金が終わっても継続できるようなファンドづくりにトライしています。

その最初の試みとして、「かながわ生き生き市民基金」の「エラベル」^{事業指定助成プログラム} を使わせていただき、以下のように寄付を集めています！！

子どものまちづくり応援事業

財源を、寄付で賄っていくしくみをつくります。応援お願いします。

◆子どもからの発案、あるいは子どもが参画する団体からの応募にもとづき、1申請あたり10万円の事業費(物件費、子どもの交通費)を助成し、10万円相当のコーディネートを提供します。

公益財団法人と協働で
集める寄付・・・40万円

事業指定助成プログラム
「エラベル」

応募事業Aへ事業費 10万円

応募事業Bへ事業費 10万円

応募事業Aへのコーディネート費 10万円

応募事業Bへのコーディネート費 10万円

この事業の目指す姿

